



子どもたちの思いと2年目の再生生整備の工事

学校長 森島 美子

梅雨入りと梅雨明けを知らせると言われているタチアオイ（梅雨のころに咲き始め、てっぺんまでの花が咲くと梅雨明けの頃と言われています）を見かけ、雨の季節を感じています。5月30日の運動会では、たいへん暑い中でしたが子どもたちも日頃からの練習の成果を存分に発揮している姿が印象的でした。各ご家庭での暑さ対策へのご協力に感謝いたします。

6月に入り台風や下校時の雷雨等、天候に翻弄される日もありましたが、教育活動は各学年、それぞれ一歩踏み出した活動に向かって進めています。これまで過ごしてきた学級での生活を見つめて学級目標を話し合っ決めて、校外学習（3年）八ヶ岳自然教室（5年）や外部委託になった水泳学習と教室を飛び出しての活動が展開されたり、今年度から新たに取り組んでいる校内研究「国語」を意識した子どもたち同士の話し合い・言葉を大事にした伝え合い、書くことを主にした活動等々（2年・6年7月に授業研究あり）1年生は初めての5時間授業に気持ちがワクワク。4年生は音楽の時間に洗足学園の学生さんたちの演奏に興味津々。様々な学習活動が展開されています。

再生整備工事、2年目の準備も始まりました。昨年同様、校庭の東側1/3ほどが、バリケードで仕切られ、資材置き場や工事関係の事務所が建てられる場所になっております。東門は、これまで通り利用できますが、入ってすぐ右側はバリケードと圧迫感を感じる仕様になっております。子どもたちをはじめ、保護者の皆様、地域の皆様にはご不便をおかけいたしますが、しばらくの間ご容赦いただきますようお願いいたします。校庭が1/3ほど使えなく狭い状況のため、昨年度、代表委員会で子どもたちが懇願した休み時間の体育館開放を今年度も考慮し、子どもたちの遊べる場を確保していきます。（教職員で安全面についても配慮をします）放課後遊びに関しましては、問題提起をしつつ、様子を見ながら子どもたちにも考える時間を与えて様子を見ていきます。

気づくと、学校は夏休み前、前期前半のまとめの時期になります。12日、今年度の第1回学校運営協議会が開催されました。全教職員が学校運営協議会の委員の方々と顔の見える関係作りと各学年が探究的な活動として取り組みたいと考えていることに委員の皆様からヒントをいただくこともねらいの一つに実施しました。

さて、7月1日は川崎市制102周年を迎えます。ブランドメッセージでは「Colors Future! いろいろって、未来」多様性はあたたかさ、多様性は可能性。と謳われています。多様性を認め合いつながり合うことで、新しい魅力や価値を生み出し、川崎市のもつ多彩な魅力を未来にもつなげていくという思いが込められています。子どもたちにも自分たちの住む川崎市に誇りと愛着をもってもらえるようキャリア在り方生き方教育も大事にしていきたいと思っております。